

# クラフト部2

# 成果報告会

- 1.開催概要
- 2.当日の様子
- 3.アンケート結果
- 4.わかったこと
- 5.今後の抱負

# 1.開催概要

## ●実施内容

- ・ハロウィーンをモチーフにしたイルミネーションの設置
- ・来場者にクッキーのハロウィーンデコレーションをしてもらうワークショップの実施（参加費1人300円）

## ●日程

10/26-31

17:00-20:00

## ●目的

ハロウィーンを機会に**多くの人**に楽しんでもらう

# 2.当日の様子

## イルミネーション

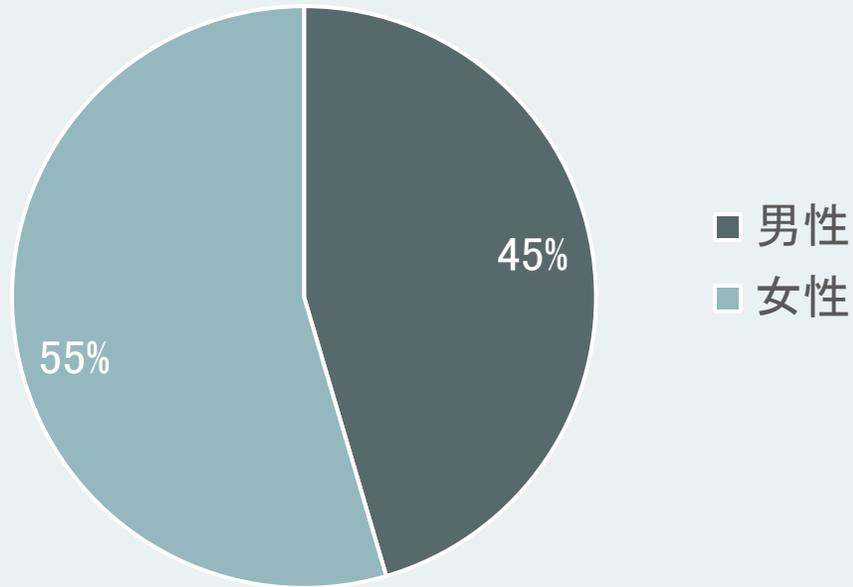


## ワークショップ

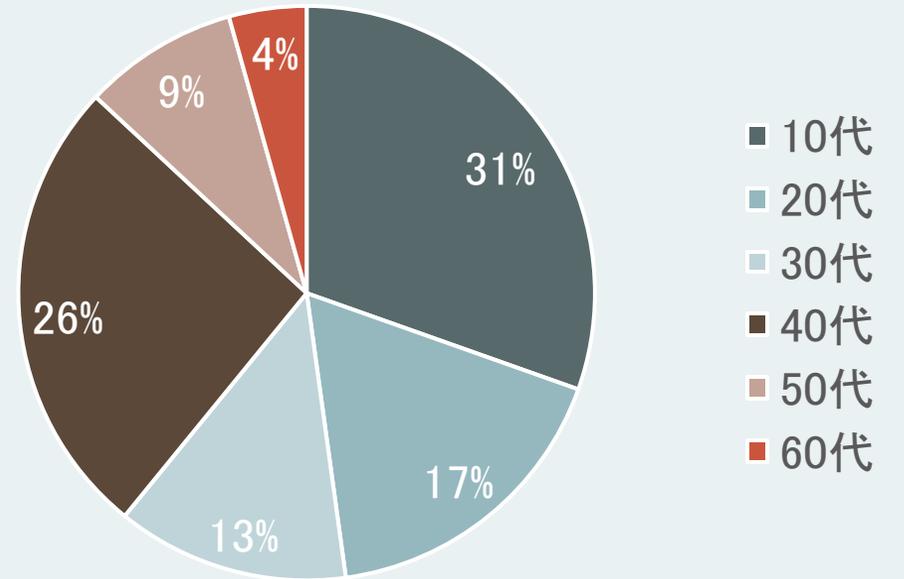


# 3.アンケート結果

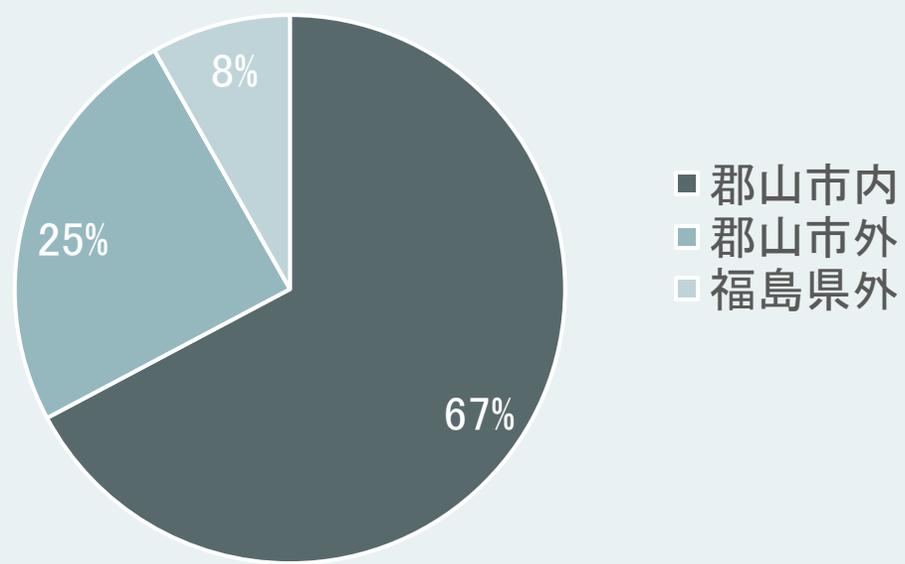
来場者の性別



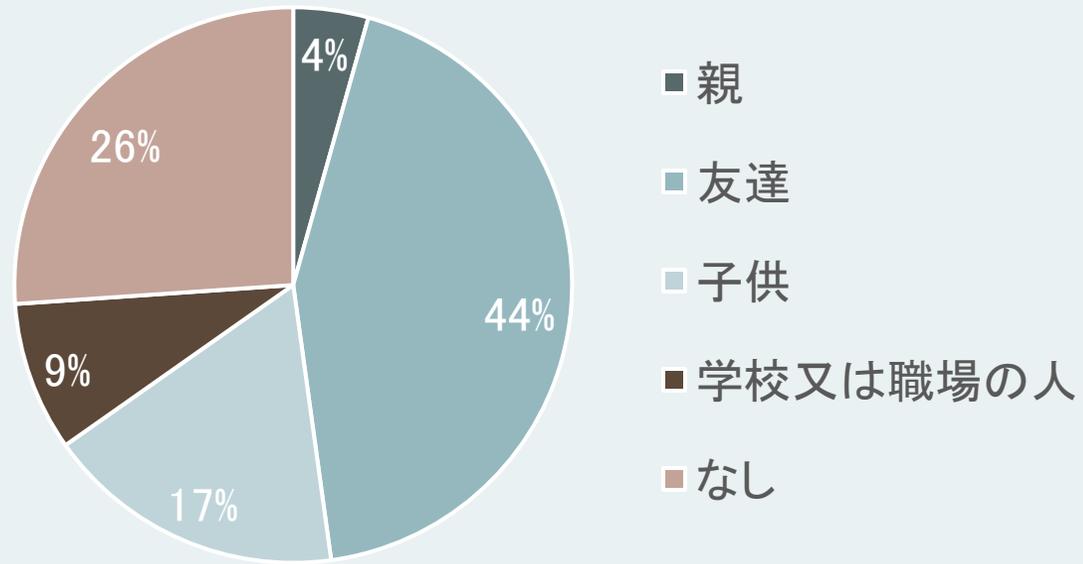
来場者の年齢



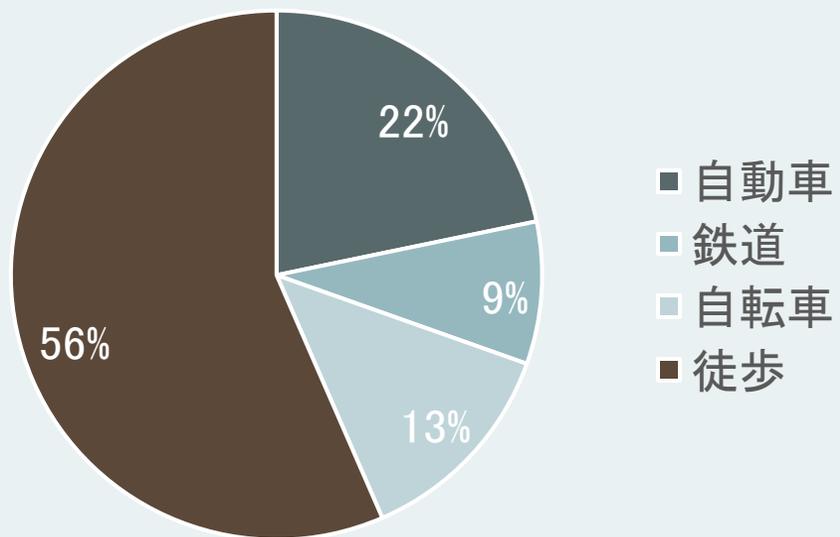
### 来場者の住まい



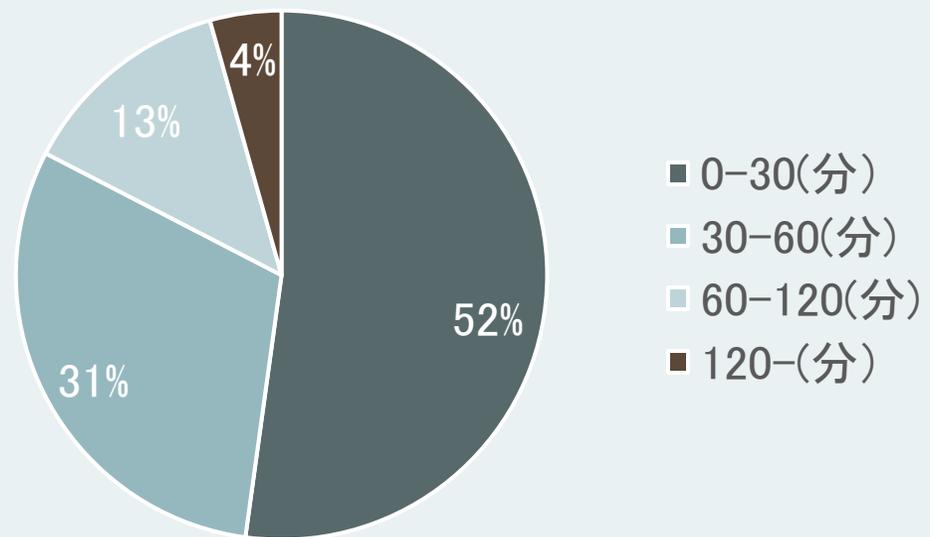
### 来場者の同伴者



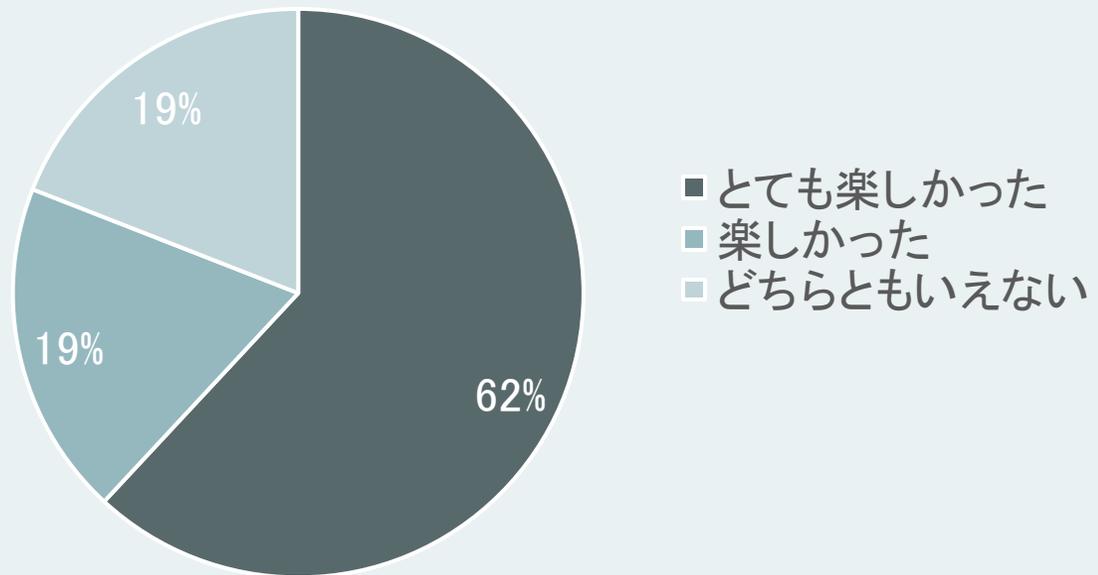
### 来場者の交通手段



### 来場者の滞在時間



## 来場者の満足度



## 来場者からのご指摘

- ・ 場所がわかりにくい
- ・ 場所を変えるべき（人通りの多いところ、目立つところなど）
- ・ 人手を増やすべき
- ・ 宣伝すべき

## 来場者が郡山駅周辺に必要なだと考える居場所

- ・ 休憩所
- ・ 駐車場
- ・ 座っていただける場所
- ・ 集まれる場所
- ・ 無料の、広くてのんびりできる場所
- ・ 福島県又は郡山市らしさのあるカフェ
- ・ 学生や若者がやりたいことを実現できる場所
- ・ もっと若者が集まれる活気ある郡山駅
- ・ ユニバーサルスタジオジャパン
- ・ ビーチ

## 4.わかったこと

- ・ 場所がわかりにくかった
- ・ ハロウィーンということもあり来場者は若年層に多い
- ・ 来場者の満足度は良い  
しかし「なんともいえない」という回答が存在
- ・ 福島県外または郡山市外からの来場者が存在
- ・ 今回行ったような簡易的な工作型ワークショップは比較的短時間で来場者に楽しんでもらう手段である

## 5. 今後の抱負（次同じことをするなら）

- 若年層だけに限らず幅広い世代の人々に、多く来場してもらうために、、、  
⇒一部の世代に偏りがちな社会実験を行うのではなく、多種多様な人々が楽しめる企画を考え、実行する。  
また、社会実験実行の事前準備として、SNSを大いに活用する。インターネットをあまり閲覧しない人々に向けたこととして、新聞や来客の多い店舗（スーパーなど）でのチラシ貼付の依頼なども行う。
- 人々の流れを事前に予測し、居場所の規模を決定するために、、、  
⇒長期滞在型にするか短期滞在型にするかを曖昧にせず、しっかり確認
- わかりやすい場所に居場所を設置（インパクトある看板にするなどの工夫）
- グループ間での情報共有・理解を大事にする

ご清聴ありがとうございました